

児童の車内への「置き去り」は児童虐待
(ネグレクト)です！

～STOP！オキザリスるな～！！～



これまで、全国的に駐車場などで車内に置き去りにされた子どもが熱中症などで亡くなるなど、痛ましい事件が発生しています。

これから、暑さの厳しい夏を迎えようとしています。

車内の温度は、比較的涼しいと思われる日であっても、気温の上昇とともに急上昇します。

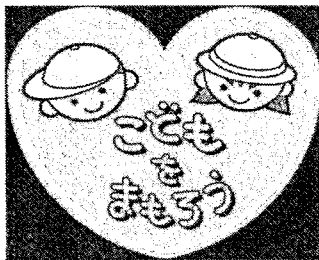
子どもは、体温調節が未熟なこともあり、そのような車内では、短時間であっても熱中症になり、命を失う可能性があります。

「眠っているから」、「少しだけ」などと子どもを車内に残したままその場を離れることはやめましょう。

子どもを車内に置き去りにすることは児童虐待に当たります！

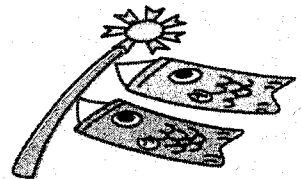
そのような車を見かけたら、すぐに警察などに通報しましょう。

また、居宅内でも同様のことが起こる可能性がありますので、十分に注意しましょう！



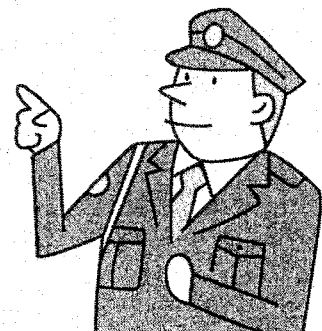
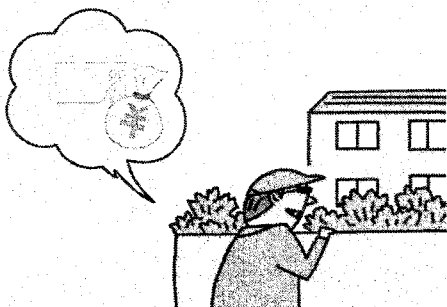
150th

千葉県警察 CHIBA POLICE



～臼井交番管内の事件発生状況について～
(3月1日から3月31日)

万引き 1件
オートバイ盗 1件



臼井交番

5月号

佐倉警察署

043-484-0110

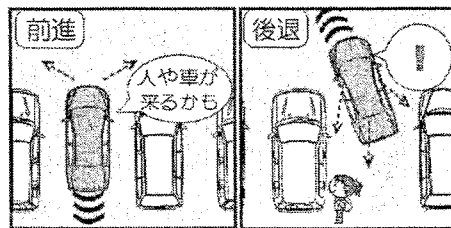
臼井交番

043-487-5510

～ゴールデンウィーク中の交通事故防止～

【ドライバーの方へ】

○観光施設などの駐車場での事故に注意！駐車場内ではスピードを落として、周囲の安全確認をしながら走行しましょう。特に前進・後退する時は、歩行者などがいないかよく注意しましょう。



○余裕を持った運転計画を立て、こまめな休息をとりましょう
出発前に運転ルートや所要時間などの計画を立ててから出発しましょう。

また、疲れていると注意力・判断力が低下し、思わぬ事故につながりますので、疲れや眠気を感じたら速やかに休息を取りましょう。



○飲酒運転は絶対ダメ！！

「せっかくのドライブだから、お酒も飲んじゃおう・・・」
は、許されません！

また、飲酒が前夜でも、翌朝運転する時までお酒が残っていることがあるので注意しましょう。

ゴールデンウィーク中は観光地を中心に人や車の通行が大幅に増えるため、交通事故の発生が心配されます。お出かけ前に、事故防止のポイントを確認しましょう！



【バイクを運転する方へ】

○渋滞している車の間を縫って走るのは大変危険です！

車と接触し転倒するなど、大きな事故につながるおそれがあるだけでなく、周囲のドライバーにも不安を与えます。

【歩行者の方へ】

○渋滞している車の間を横断するのはやめましょう！

対向車線を通る車から横断する姿が見えず、大変危険です。

横断歩道や信号機のある場所を渡りましょう。

○横断歩道・青信号でも左右の確認をしましょう！

車が歩行者や信号に気がついていない可能性があります。

左右の車が止まったのを確認してから渡りましょう。

交通事故に気をつけて、楽しいお出かけを！

